いわき民報
電話一八三番　郵便番號平市田町四八
發行人兼編輯人　巳克輝
印刷人　千田
日刊（但月曜を除く）
定價一部九錢一月廿五円
發行所　いわき民報社

濱三郡下の社會教育研究大會

來月十日から三日間磐女高校で　大がかりな日程等もすべて決定

濱三郡下の學校、青年團、婦人團體等の代表者約四百名が參集して磐城女子高校講堂に開催することに決定した、この社會教育研究大會は軍政府、文部省、縣からもそれ〳〵出席

第一日目は公民館、圖書館、青年團、婦人會、PTA等を始め、新學制の實施狀況通信教育、學校擴張、視學教育などについて陪審討論を行い、第二日目は社會教育に重點を置き政治、勞働、產業、科學、宗教、藝術、體育、衛生教育について講演會を開き更にこの討論、見學などをする、第三日目は國民運動と社會教育と題し特に政治經濟を始め引揚者の援護、不良青少年の善導、公衆道德の確立、兒童福祉等を議題に陪審討論並に講演會を開く

なおこの討論や講演等は郡下市町村會の代表新聞、放送、圖書館、公民館、學校、勞働組合、PTA、婦人團體、文化團體、宗教團體、醫師會、體育團體、實業界の代表者等約百二十名の人々を正式會員に指名して地方に即した實際的な面の聲を中心として論議を進めて行く計畫である

縣主催、社會教育、研究大會は來月十、十一、十二の三日間濱三郡下の學校、青年團、婦人團體等の代表者約四百名が參集して磐城女子高校講堂に開催することに決定した、この社會教育研究大會は軍政府、文部省、縣からもそれ〳〵出席

第一日目は公民館、圖書館、青年團、婦人會、PTA等を始め、新學制の實施狀況通信教育、學校擴張、視學教育などについて陪審討論を行い、第二日目は社會教育に重點を置き政治、勞働、產業、科學、宗教、藝術、體育、衛生教育について講演會を開き更にこの討論、見學などをする、第三日目は國民運動と社會教育と題し特に政治經濟を始め引揚者の援護、不良青少年の善導、公衆道德の確立、兒童福祉等を議題に陪審討論並に講演會を開く

なおこの討論や講演等は郡下市町村會の代表新聞、放送、圖書館、公民館、學校、勞働組合、PTA、婦人團體、文化團體、宗教團體、醫師會、體育團體、實業界の代表者等約百二十名の人々を正式會員に指名して地方に即した實際的な面の聲を中心として論議を進めて行く計畫である

阿部氏が當選

大浦村長補選結果

大浦村長選擧は十五日炭ごう勞務關係打合會午前七時から午後六時まで同村學校、四ッ倉セメント會社演舞場の二投票場に行はれたが立候補者僧侶職阿部巢順氏が一、四七五票、現助役酒井善吉氏が一、〇六九票（棄權率六七パーセント）で四百六票の差により阿部氏が見事當選した

各ヤマ毎に對策

炭鑛勞務打合せ會

平石炭局では例の炭價改正問題の協議會を二十一日午前十時から市公會堂日本鋼に常磐石炭主催の品位向上に關する對策打合會は十六日午前十時から本社樓上に開催管內百二十三礦の中低品位炭生產礦の各經營者及代表七十名が出席、今日までは何とか政府の赤字融資で切り拔けて來たが今度の炭價改正案の實施をみれば赤字融資は切られる上、ひよろ準價格二千二百九十八圓にのぼり着うとく各ヤマで撰炭强化の擧に出れば必然的に生產量不足に陷ることになるので何とかのデレンマから拔け出そうと種々協議したが遂に結論は生れず結局各ヤマ毎に對策を講じて常石に通知この報告に基き新たな對策を計ることを申合せた

濱三郡下學校長會議

日宿直手當も協議

縣主催平市及び濱三郡下の學校長會議は二十三日午前九時より磐城女子高校講堂に開き學校休假中の勤務や生活指導並に勞働基準法によつて定められている日宿直の手當は日直四十圓、宿直五十圓となつているが實際はその規定通り行はれていないのでこれが對策等につき協議する

石炭海上試驗輸送

今度は岩手へ

常磐炭を積むため十八日F型きつき丸（五〇〇トン）が十八日入港

電球配給

市配給課ではトウランプ（電球）が千八百個入荷したので十八日より希望者に配給券を交付する、價格は四〇W乃至三〇Wは十八圓四十錢、六〇W二十二圓六十五錢、一〇〇W三十八圓二十五錢

石復幹事會

第五回石復幹事會は二十一日午後一時から石炭會館に開らき、二、四半期出炭計畫、三專門委員會運營規程その他の件に就き協議する

街頭の哲學を

平第一校の新計畫

過去に於ける教員は稍もすれば馬車の馬的に視野が狹く家庭と學校並にその往復途上の出來ごとしか知らないという從來の轍をふみたくないと平第一小學校の職員たちは近く「街頭の哲學」を試くの會を開らくべく計畫中で第一回は伊藤一氏と決定、既に交渉ずみであるが今後各方面の人々の體驗談生き方、獨自の哲學等に就いてリクリエーションの形式で忌憚なく意見の交流を計る方針で第一回以後の適任者を物色中である

田植は順調

雨に水不足も解消

郡下平坦地方の田植はいるので平年並の順調さを示しているまた郡南方部を皮切りに始まつた、今年は二、三日の降雨で幸ろうじて水不足はまぬかれることが出來たが各農村側（組合員二八七名）に對し八十名の解雇申渡しを行うから緊急指腕に切りつけ全治四週間の重傷を又和吉さんはその他にも輕傷の顏面

大東鑛勞組解雇を拒否

大東炭鑛（茨城地區、社長石原勘右門氏）では赤字經營の原因で組合員の間の重傷を又和吉さんの顏面その他にも輕傷

實姉夫婦を斬る

昨夜好間村の事件

十五日夜十一時半頃好間村大字上好間古河炭合せた同村駐在熊谷巡査に取押えられたこう運搬夫草野友忠（三六）は實姉ヨシノさん（四八）の嫁ぎ先の全村小川和吉さん（六三）方を訪れ酒をのませろとて斷られるや一尺五寸位の日本刀でヨシノさんの兩腕に切りつけ全治四週間の重傷を又和吉さんの顏面その他にも輕傷

臨時夫募り藥劑撒布

市の夏季衛生

夏季の傳染病蔓延に備えて市では昆虫類の撲滅を圖らうと市內各衛生組合に呼掛け一、三日中に下水掃除徹底化を圖り更に藥劑を撒布する　市衛生係では今後傳染病の豫防に重點を置く反面文化的建設的な生活環境を建設するため臨時夫を募り常に藥劑を撒き今夏は蚊、蠅もいない愉快な市民生活の實現に向つて努力することになり各衛生組合の協力も要請する

優良炭鑛へ報奬

アメリカタバコ

專賣局平出張所では平石炭局割當表による二、三月出炭目標第二回觀賞映畫は十五日から一、二、三日まで上映の姉妹と水兵を取りあげることに決定したこの期間中會員は全タップ發行の招待券でいつでもみられる

教員辭令

中小學校助教員に對する教諭辭令は去る三十一日付で發令されたが市郡關係者は左の通り

（上遠野小）菅井幸子（湯本中）栗原通（內郷第一中）永山源二（大浦中）松本吉正（川部中）藤田一夫杉本義孝、城本勝安坂本義安、（平一中）梅谷健次郎（飯野中）佐藤久彌（內郷二小）春川ヨシ（飯野中）桐原鳳純（內郷宮小）横山チエ子（大浦小）新妻二三枝（勿來一小）秋元高次、星モモ

姉妹と水兵

AMPクラブ六月觀賞映畫

AMPクラブでは六月第二回觀賞映畫は十五日から一、二、三日まで上映の姉妹と水兵を取りあげることに決定したこの期間中會員は全タップ發行の招待券でいつでもみられる

素人ノド自慢と二十の扉大會

時　七月十四日　晝正午から夜六時から

所　世界館

賞金　ノド自慢　一等千圓　二等五百圓　三等三百圓　四等二百圓　五等百圓

樂團　一等千圓　一等五百圓

ソ連引揚同胞援護救濟資蓮造成の爲め右の大會をNHK騰倉アナの司會で開催致します、就てはノドに自信のある方と「廿の扉の會」の回答者十名（男八女二）とその問題を一般から募集します、但し回答者は知名の士の方が面白いと思います、人氣のある人を回答者に決定しまからどしく應募願います

◇締切　七月五日　◇送り先いわき民報社

◇審査員　伊東一氏　鈴木傳明氏　花柳登代藏氏　中島湖洲氏　丸山光造氏　長谷川正男氏　高野吉男氏（順不同）

主催　白銀青年會

後援　平引揚連盟　平市社會課　いわき民報社

いわき寸言

街ではイヤな雨も正に値千金、田植順調ときけば街人も嘆くな

公の字を忘れたと

湯本衛生管理講習の衛生管理者受驗講習會は自治會館に六日より三日間の豫定で開いたところに正しさはない、西尾問題等々よい意味忘れたのは思い出すのともあらうが失つたのではネ

設計請負
宅地住宅
有限會社
社長　正木昌次郎
平市田町
電二〇二番

農林省指定
製パン、精米、麥、製粉、飼料、委託加工製造
皆川食品工業所
小名濱町字柴町地先埋立二
電話（小名濱）三二四
皆樣御利用願います

此の度皆樣の御援助に依り近代的シングル式撮影場が完成致しました
記念撮影には是非御用命のほどお待ち致します
新寫場完成
平市田町七二
大野寫眞館

民報論壇

署長さんの警邏

もろ〳〵の社會不安のうち依然として多い盜難事件は農繁期の疲勞している際に乘じて最近ドロ的は益々猛威を逞しくしている狀況で一般は枕を高くして寢ることが出來ない有樣である、斯うした時期に當り小名濱警察の鈴木署長は自ら先頭に立つて警邏を實施していると傳えられることは注目すべきいい事である

當り前の事でないかと云つて仕舞えばそれまでだが、その爲に部下警察官に對して身を以て範を示し警察精神を昂揚させる上にどれ程いい結果を招來するか知れない、

防犯は何と云つても警察官が絕えず巡邏して犯罪の隙を與えない處に目的は達せられるのであつて非常に大切なことであるがこの警邏勤務は概して意慢であるとの非難があり、それが爲めにドロ的の跳りようとなつているとも云はれる、警邏意慢の理由には腹が空いて歩けないと云うわけがあるので一應已むを得ない樣にも思われるのであるが、それをいいことにおこたつているとも云はれる警察官が巡邏する勤務の姿を見て民衆は非常な力强さとしたしみを感じその結果俗にお巡さんと云う親しみの尊稱を以つて呼ぶことになつたものと思うがこの俗稱とそ警察官はわれ等のものと云う民主的呼稱であつて其の間に少しも輕視した意味があつてはならずまたないものと信ずる警察制度が民主的に改められてこゝに數ケ月を經て來たが、この改革の要は警察犯・齋犯に少からず効果を罪を根絕することが目的であろうと思はれるが依然として犯罪が多く安眠を得ることが出來ないことは遺憾であつて警邏勤務だけでもより嚴格に實行出來れば防犯に少からず効果を齋すものでないかと思うのである（田原）

高平商會
水道用具、機械工具、
平市鎭通白銀町一五

三田みやげ ②

史談會顧問　根本忠孝

原史時代の部

次に原史時代の陳列品を觀覽するに、國寶指定の珍品が少くない。

矢上古墳發掘品

去る昭和十一年十月横濱市神奈川區日吉町矢上古墳より發掘の玉類を其種類によつて列擧すると、曲玉は硬玉のもの三個、ガラス製で紫色のもの五個、何れも長さ十五ミリ内外のものである。管玉は碧玉製で直經八ミリ内外で紫色を呈するを多とするが、空色を呈せるものが十個程ある。小玉は硝子製で直經三・五ミリ内外で紫色のものが大分で空色と綠色のものとを交へてゐる。ナツメ玉はこはく製で完全なるは三個あり一般のナツメ玉に比しては高さ低く幅六・五ミリ高八ミリ程度である。櫛は八本の竹串を重ね其中央より灣曲せしため堅に長いもので所謂縱型結束式であり長さ八、一五センチである。鐵製で直經八ミリ内外。丸玉は硝子製で直經八ミリ内外で紫色を呈するを多とするが、空色を呈せるものが十個程ある。小玉は硝子製で直經三・五ミリ内外で紫色のものが大分で空色と綠色のものとを交へてゐる。共に同一の鑄型に依つて製作されたと思はるゝもので、其質また同じ白銅である。文樣は鮮明なるも鈍重を免れず規格亂れて支那に於ける模倣製鏡と解されてゐる。以上の品々は去る昭和十五年五月一捨して國寶に指定された貴重な直刀は數個に折損されたが全長一、五三米中莖の全長一二センチ、刀身幅四センチ、鞘福島縣相馬郡眞野村八幡原古墳群發掘の出土品が陳列されてある。其陳列品に就て書くに當崎教授の說明の大略を記すことゝする。

眞野古墳發掘品

更に去る昭和二十二年十一月福島縣相馬郡眞野村八幡原古墳群發掘の出土品が陳列されてある。其陳列品に就て書くに當崎教授の說明の大略を經たものが少いからこの資料は東北古代文化研究上重要な意義を有する

本古墳群の各部構造には大別して六つの型式が認められた。

（1）古墳群の特色

第一型式、棺廓の設けがなく遺物も出土しないもの四基

第二型式、棺廓の設けがなく遺物が單獨に出土したもの一基

第三型式、川原石積み円形らつ廓一基

第四型式、塊日積み堅穴（巨大なる天井石を有する）二基

第五型式、全右（但し天井石を缺くと思はれるもの）一基

第六型式、板石刳石を以て造り粘土にて卷いた箱形廓二基

（2）一般には遺物の豐富な前方後円墳が二基共第一型式に屬し埋葬の施設や遺物を全く發見し得なかつた點は注目される

（3）第三第四第五の各型式鐵ヂリ、刀子、短刀。第三〇は他地方に少なく地方色を發揮したものとして興味が深い。

（4）武器馬具類、玉類、石品、直刀。第三〇六號墳出土品、直刀、刀子、第六號墳出土品、直刀。第三〇三號墳出土品、石製模造品、鐵ヂリ。第三一一號墳出土品、馬具、第七號墳出土品、刀子。第三一九號墳出土品、鐵ヂリ、刀子、短刀。第三〇二號墳出土品、直刀、刀子、馬具、第八號墳出土品、直刀。第三〇六號墳出土品、曲玉、管玉、小玉類。以上が陳列されてあつた。

小池原古墳發掘品

この古墳群は眞野八幡原古墳群の北約二キロにある、現在遺物では群馬縣新田郡二ツ山と間崎教授は話された

喜美太夫と花菱會美學

小名濱町

昨年夏明大教授の徐藤守氏等が陳列されてあり、又千葉縣畑町に一本大學考古學研究室の濱泥榮藏出土品の獨木舟及セリの地方の古墳は未だ學術調査水潤三、江坂輝彌氏等が其が陳列されてあつた。この獨木舟とセリとは去る一月、檢に一基を發掘されていた爲め細部見出讃醒調査會に於て發見し

この程縣から川部、内郷の二町村が農業共濟組合設立申請の許可通知を受けたが郡市では全部で許可された町村は十七である石城地方は事務所では未設立の町村は早急設立する樣要望している農濟に加入しておれば農業災害保しよう法により作物の害が生じた場縣から同保償金が交付れさるるため漁場へ向つた

兩農業共濟組合へ許可

この程縣から川部、内郷の二町村が農業共濟組合設立申請の許可通知を受けたが郡市では全部で許可された町村は十七である石城地方は事務所では未設立の町村は早急設立する樣要望している農濟に加入しておれば農業災害保しよう法により作物の害が生じた場縣から同保償金が交付れさる

眞空管と部品の卸
上原時計店
平驛隆デ左五軒目　電22

讃えよ！海の友愛

遭難の第一うらん丸を救つて 指導船磐城丸けさ堂々歸港

心細くなつた燃料油も食糧も顧みず遙かな洋上で遭難した小名濱港城十郎氏所有第一うらん丸（一三五トン）を護衛して激闘しつゝ今十六日朝無事小名濱へ歸港、同船乘組員五十五名の貴い人命を飽まで守り通した縣指導船磐城丸の示した『海の友愛』にはハマの人たちも感激している

洋上決死の修理

歸港までの苦難行

カツオ漁に從事中だつたうらん丸から去る九日午後二時緊急通信が丸が第一うらん丸の燈小名濱水産試驗場無電局に入りエンジンの故障で北東に流されていつゝある旨が判明し更に十日午前八時には最後とたのむ補助エンジンも停止し今となつては人命だけでも救助を賴むとSOSを打電して來た同局では二百七十五マイル離れて航海中の磐城丸へ現場急行を指令同時に靜岡縣に待期中だつた傍船第二うらん丸も緊急出港し南と北から同船を救いに急行翌十一日午後七時半にはうらん丸も